

千年の森便り No.103

2012.04.19

ちば千年の森をつくる会

<http://www.7a.biglobe.ne.jp/~toyofusajima/>

事務局長 伊藤道男

sennennomori@hotmail.co.jp

活動の記録

4月15日（日）晴

参加会員は伊藤、鶴沢、甲斐、栗山、久我夫妻、倉俣、坂本（文）重岡、根本、福島、松田、真鍋、松本、村野の15名+体験参加者2名。新日鉄君津17名のお客様。

好天候に恵まれ、年次総会、新日鉄君津からのお客様ご案内、ブラインド建設、シイタケホダ場ネット補修、植物調査、コナラ更新林調査などに快い汗を流し、成果の多い一日でした。

○年次総会

平成24年度総会を開催し、23年度活動実績・決算報告を承認、24年度活動・予算計画を決定、役員改選を行いました。総会決定事項は3頁「お知らせ」および4-5頁に掲載します。

○新日鉄君津のお客様

『豊英島の自然』寄贈がきっかけで、新日本製鉄君津製鉄所の皆さんが豊英島を来訪されました。「地域の理解を深めるプログラム」の一行で、参加者17名の方を坂本文雄さんと私の2名でご案内しました。絶壁に自生するミツバツツジがイワツツジと称される理由の説明を皮切りに、1時間半ほどで千年広場の周辺を一周しました。坂本さんの植物や野鳥、センサーカメラの話などに皆さん非常に興味を示されたようでした。また、ダム管理や橋の構造、川回しなどについても質問を受けました。豊英島の全体像をしっかりと把握し、地域に情報発信する必要性を改めて実感しました。皆さん、またの来訪をお待ちしています。（伊藤）

○ブラインド建設作業

マダケ林の片隅にブラインド建設の作業を先月より行っています。今回は、鶴沢、根本、村野、久我、久我（則）で設計打合わせから、施工の方法を話し合い、作業開始。広さ1坪、竹2本を半分に割り周りを囲む、支柱は竹を利用し、屋根はありません。中に入ると迂回式になっていて、外部からの遮蔽は完璧です。利用者を代表し久我（則）、松本さんに見てもらいました。現在40%の出来なので次回の完成をお楽しみに！なお、利用方法等は今後ご意見いただき決めたいと思います。（久我）

○コナラ更新調査

06年には約1500本あった03年発生の実生苗から80本（平均樹高26.1センチ）を選抜し、継続調査をしていますが、生育が思わしくありません。11年段階で49本が生存していますが、平均樹高は26.4センチとほとんど成長しておらず、10センチ程度で枯損寸前のもも多いのが実態です。今後は、成長の良い10~20本程度を再度選抜し、しっかり明示した上で、今後の経緯を最後まで見守りたいと思います（伊藤）



行楽日和の豊英島にお客様をお迎えし



説明に熱心に聴き入るご一行



建造中のブラインド

○シイタケホダ場の食害対策

シイタケ保護ネットに穴をあけてシイタケを食べた犯人は、センサーカメラの画像からニホンジカである可能性が高いことが判明しました。そこで、さらなる食害を防ぐために巨木林ホダ場のシイタケ保護ネットの補修作業を行いました。補修は、穴があいた保護ネットの上から新しいネットで覆って固定する方法で行い、ネットが足りないホダ場については穴を紐で繕いました。おそらく、今回の補修でこの春のシーズンの被害は防げるものと思われます。(福島)



早朝から食料探し 4月3日6時31分



シイタケ喰いの現行犯 3月22日19時53分



食害対策は人海作戦で

○植物調査

3月に発見された急斜面のヒメフタバラン(千葉県最重要保護生物:A)は小さい株を含め50株を越える群落で、うち約20株が開花していました。崖に自生するヒカゲツツジ(A)は残念ながら蕾も花も見られませんでした。シロバナショウジョウバカマも開花前。

平坦部の林床にはヒナスミレ(B)、フモトスミレ(C)、タチツボスミレ、アカネスミレ(C)、ニオイタチツボスミレとスミレで賑やか、フデリンドウ、シュンラン、ヒガンナムシグサ、ミツバツチグリも開花中。ミツバツツジ、ミヤマシキミ、ウチダシミヤマシキミは花満開、この他クロモジ、モミジイチゴ、ヤブツバキ、ヤママメザクラ、ウグイスカグラ、ヤマブキも開花中。イチヤクソウ、ミヤマウグイスカグラ、エビネ、カンアオイは蕾、オニシバリ、ジャノヒゲは実。エノシマキブシは種確認のため花穂採取、ギンランらしい蕾に標識設置。(栗山)

シダ植物ではイノモトソウ科のセフリイノモトソウ(イノモトソウとオオバイノモトソウの種間交雑種)が発見され、豊英島のシダ類は累計49種になりました。



ヒメフタバラン(千葉県:A) 栗山



フモトスミレ(千葉県:C) 坂本文



ヤママメザクラ 福島

ヤマザクラとマメザクラの雑種と推定されている。花期はマメザクラよりも遅くヤマザクラよりも早い。昨春中央博天野氏同定(真鍋)



ヒカゲツツジ(千葉県:A) 福島

「豊英島の自然」に記載の通り、崖の崩落で根が露出していて、危機的な状況。今年開花できるかどうか危ぶまれる。(真鍋)



ヒナスミレ(千葉県:B) 栗山

昨年一株も見出せなかったこのスミレが、今年は多数株あり、不思議。(真鍋)

○野鳥調査

繁殖期になって小鳥類が盛んに囀っていました。総会の議事進行中も周囲ではウグイス、シジュウカラ、ヤマガラ、メジロの音が賑やかで、上空をミサゴ（魚食性の鷹）も通過しました。トビの古巣に巣材の補充が見られ、今年も繁殖が期待される中、吊橋のメインワイヤーの上で交尾したのを目撃した人もいます。



広場に設置の巣箱を調べると、真新しい苔が敷きつめられていました。

シジュウカラが巣作りを始めていたようです。（写真参照）再度、蓋をして元の位置に取り付けました。雛の誕生が待たれます。坂本（文）

お知らせ

○2012年度活動計画と役員選任；4月15日総会において今年度の活動計画を決定し、役員改選を行いました。代表：真鍋昌義、副代表：新井孝男、副代表兼事務局長：伊藤道男、幹事兼安全委員長：坂本彌、幹事兼安全副委員長：松本ミドリ、幹事：鶴沢和男、坂本文雄、根本喜代士、村野忠夫、監事：森忠良。活動計画および定例活動日は4－5頁の通りです。

○5月の臨時活動日；5月3日（木・祝日）植物調査・観察。9時30分木のふるさと館駐車場集合。

○5月の定例活動日；5月20日（日）県民の森自然観察、稀少種保護柵、ブラインド整備、植生調査、野鳥調査など。9時30分木のふるさと館駐車場集合。

○会員の入・退会；3月31日退会 高塚肇子さん、西田宏さん、会員の皆さんに宜しくとのことでした。
4月1日入会 松田弘義さん（四街道市）、倉俣武男さん（八千代市、既報）宜しくお願いします。
4月1日現在会員数は42名です。

○年会費納入

2012年度会費の納入については、下記振替口座をご利用ください。（窓口120円、ATM80円）
ゆうちょ銀行 振替口座00100-1-358774 ちば千年の森をつくる会

○かずさFMの番組に出演；ちば千年の森をつくる会を代表して伊藤事務局長ほか1名、かずさFMの番組「とことん上總、街角トークあの人に会いたい」に出演します。

日時は5月4日（金）、午前8時～9時、再放送午後7時～8時です。

コミュニティーFMですので、君津地方しか聞けませんが、パソコンがインターネットに繋がっていれば、「サイマルラジオ」で全国どこでも視聴することができます。

視聴するためには、まずはインターネットの検索で「サイマルラジオ」を選択し、アクセスしたら「かずさFM」83.4メガヘルツを選択してください。イヤホンを使うと高音質で聞こえます。

○里山に託す私たちの未来・第9回里山シンポジウム in 市原 参加のお誘い

「里山の魅力発見—中房総の原風景を支える底ヅカラ」をテーマに市原市をメイン会場に開催されます。

期日 5月27日（日） 10:00～16:00 会場 東海大学付属望洋高等学校 外

午前には 式典・特別報告「中房総の小さな旅」など、午後は北川フラム氏の基調講演とパネルディスカッション（農民文学者遠山あきさん、佐久間市原市長ほかの登壇者）等多彩なプログラム。

各種展示や分科会も県内各地で展開されています。（詳しくは公式HP：<http://www.satochiba.jp>）

24年度活動計画

会設立以来9年間の活動の成果と反省を踏まえるとともに、規約第3条の目的達成のため、以下の通り活動計画を決定し、実行する。

森林整備	<ol style="list-style-type: none"> 1. 生物多様性保全を基本に、森林整備は必要最小限にとどめるが、植生保全等のため必要な除間伐は行う。 2. コナラ更新林の実生成長調査、マダケ林の成長調査を継続する。 3. アセビ、クロモジなど繁茂が目立つものは適宜抑制する。 	
ヒメコマツ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 房総のヒメコマツ保全に寄与するため、植栽されたヒメコマツを見守るとともに、ヒメコマツグループの調査などに協力する。 	
巨木林調査	<p>下層木調査、成長量調査を継続実施する。</p> <p>(1) 成長量調査 (2) 下層木調査</p>	
ニホンシカ など動物生態調査と食害対策	<ol style="list-style-type: none"> 1. センサーカメラによる動物生態調査を継続実施する。 2. ニホンシカ頭数調査を継続実施する。(計4回) 3. 植生保護柵の補修又は改修を行う。 4. シイタケホダ場の保護柵設置・補修を適宜行う。 	6・9・12・3月
植生調査	<ol style="list-style-type: none"> 1. 植生調査を継続実施する。調査対象、調査記録方法、標本作成方法など必要に応じて改善する。必要に応じて講師又は協力者を依頼する。 2. 希少種の標示札設置と位置マップを実施する。 3. 希少種については、個別に適切な保護を行う。 4. 食害調査データの信頼性をより高めるため、調査手法に更なる改良を加える。 	
野生キノコ	<ol style="list-style-type: none"> 1. キノコ観察会を実施する。(夏・秋) 2. リスト・標本作製・写真撮影収集に努める。 	8月、10月
野鳥観察	<ol style="list-style-type: none"> 1. 野鳥調査を継続実施する。トビの営巣記録を継続する。 	毎月
照度調査	<ol style="list-style-type: none"> 1. 島内10地点、巨木林調査区、ヒメコマツ植栽域の調査を継続する。 	年2回
研 修	<ol style="list-style-type: none"> 1 シカ調査と島内自然観察会を組み合わせた形で実施する。(外部参加) 2 自然観察会(県民の森・島内)を実施する。 	12月 5月 11月
キノコ栽培	<ol style="list-style-type: none"> 1. シイタケの原木栽培を継続する。収量調査は簡素化して継続する。 2. ホダ木として必要分の伐採を行う。 	3月植菌
広報関係	<ol style="list-style-type: none"> 1. HPを適宜更新し、情報発信に努める 2. 新たな写真を加え、チラシの内容を更新する。 3. 「豊英島の自然」を図書館・公民館・学校などに適切に配布する。 	
環境整備	<p>広場・看板・物置・観察路案内板を整備し、水辺清掃を継続する。</p>	

月別活動計画

月日	主な活動	摘要
4月15日(日)	年次総会、シイタケホダ場整備、目隠し垣整備 植生・食害調査、野鳥調査	
5月20日(日)	県民の森自然観察会(内部講師) 希少種保護柵、目隠し垣整備 植生・食害調査、野鳥調査	
6月16日(土)	シカ個体数調査1 環境整備(水辺)、目隠し垣整備 植生・食害調査、野鳥調査	ダム湖清掃
7月16日(月)	光環境調査1、環境整備(観察路) 植生・食害調査、野鳥調査	海の日
8月 5日(日)	キノコ観察会(吹春講師): 公開行事	
9月17日(月)	シカ個体数調査2、マダケ林調査 植生・食害調査、野鳥調査	敬老の日
10月21日(日)	キノコ観察会(講師未定): 内部行事	
11月18日(日)	島内自然観察会(内部講師) 危険木処理(伐採) 植生・食害調査、野鳥調査	
12月2日(日)	シカ個体数調査3+公開自然観察会 巨木林成長量調査、 植生・食害調査、野鳥調査	
1月20日(日)	ホダ場保護柵、植生保護柵管理 ホダ木伐採 植生・食害調査、野鳥調査	
2月17日(日)	照度調査2、コナラ更新調査 植生・食害調査、野鳥調査	
3月17日(日)	シカ個体数調査4、ヒメコマツ樹高・径計測 キノコ植菌、 植生・食害調査、野鳥調査	

(備考) 定例活動日の他に必要に応じて、臨時活動日を計画する。

<班編成>

- ・調査班：福島(照度調査、巨木林調査、コナラ更新調査、マダケ林調査、)
- ・植物班：栗山(植生調査、食害調査、種名標示札、写真、観察会)
- ・動物-野鳥班：坂本文雄(動物・野鳥観察調査、記録、センサーカメラの管理)
- ・キノコ班：村野(野生キノコの調査、目録・標本作製、写真、観察会)
- ・栽培キノコ班：松本(栽培キノコの管理、収穫)
- ・環境整備班：鶴沢(広場・看板・物置・観察路・案内板等の整備、水辺清掃)
- ・安全委員長：坂本彌(安全管理) 規約第6条に規定の役員

<事務局>

- ・名簿管理、会計、会報発行、ML、ホームページ管理、渉外その他